

昨年度の授業改善プランの検証

- ・昨年度課題であった意欲向上や学力向上に向けた対策を十分に講じ、実施している。
- ・習熟度の差に出来る限り対応した授業を行い、個別に丁寧な対応をしている。
- ・少人数授業になって7年が経過し、教員間での授業のやり方の話し合い等がスムーズにできるようになった。

今年度の学力調査について

<p style="text-align: center;">分 析</p>	<p>観点別に関して、1学年は、全3観点目標値を下回り、課題である。2学年は、主体的に学習に取り組む態度は目標値を上回っているが、知識・技能、思考・判断・表現の2観点は目標値を下回っている。3学年は、知識・技能は目標値を上回っているが、主体的に学習に取り組む態度、思考・判断・表現が下回っている。領域別に関して、1学年は、全4観点について課題であり、2学年はデータの活用以外の3観点について課題があり、3学年は図形と関数の2観点について課題がある。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> 校内平均正答率は目標値より2学年は上回っており、1・3学年は下回っている。学年により差はあるが、全体的に数学を理解しようと努力する姿勢は見受けられる。</p> <p><思考・判断・表現> 校内平均正答率は目標値より全学年が下回っている。 自力で考えようという姿勢はみられるが、既習事項を活用して考えることが十分にできていない。</p> <p><知識・技能> 校内平均正答率は目標値より3学年は上回っており、1・2学年は下回っている。 演習量が少なく、定着しきれていない。</p>
<p style="text-align: center;">課 題</p>	<p><主体的に学習に取り組む態度> 算数・数学に対する苦手意識が根強く残っており、自学自習が習慣化していない。家庭学習を定着させることが課題である。</p> <p><思考・判断・表現> 問題から必要な情報を読み取ったり整理したりする力、問題を解決する方法を考える力が十分身に付いていない。論理的思考力を育てることが課題である。</p> <p><知識・技能> 繰り返し学習することが不足している。単純な計算ミスが減らすなど、より正確な表現・処理ができるようにしていきたい。特に数と式の計算、図形の内容を復習する必要がある。</p>
<p style="text-align: center;">授 業 改 善 の ポ イ ン ト</p>	<p><主体的に学習に取り組む態度> 課題や宿題を点検・評価することにより自ら学んでいく姿勢と意欲を育てる。ノート、プリント、問題集などを定期的に点検・評価することで学習意欲の向上に取り組む。 授業での課題の提示の仕方を工夫し、基礎の確認を重視しながら、学習内容に興味をもって取り組む姿勢を育てる。</p> <p><思考・判断・表現> 課題や発問を工夫し、考えさせる授業を行う。レポートやグループワークなどにより、課題解決の過程を重視した指導を行って、考える力を伸ばしていく。</p> <p><知識・技能> 基礎・基本の定着を目指し、反復練習する場を増やす。また、定期テストや単元テストに取り組みせることで、問題を解くことができる喜びを実感させながら、学習意欲の向上を目指していく。</p>